

2018年7月11日

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成30年度 第3回理事会 報告

日時:2018(平成30)年7月11日(水) 13:30~15:30

会場:JBA 会議室

【報告内容】

1. コーチライセンス制度の改定について
2. トップリーグ外国籍コーチのライセンス認定について
3. スポーツ医科学委員会の名称変更及び所管について
4. その他、報告事項

以上

1. コーチライセンス制度の改定について

指導者養成に関する現状の課題や現状を整理し、さらなる精度の向上を目指してコーチライセンス制度の改定を行う。

1. コーチライセンス登録区分の変更

- 1) Jr.エキスパート、E級、キッズインストラクターの新設
- 2) 日本スポーツ協会指導者資格名称変更

現ライセンス区分		⇒	新ライセンス区分	
JBA	日本スポーツ協会		JBA	日本スポーツ協会
S級コーチ	上級コーチ		S級コーチ	コーチ4
A級コーチ	上級コーチ		A級コーチ	コーチ4
-	-		Jr.エキスパート	
B級コーチ	コーチ		B級コーチ	コーチ3
C級コーチ	指導員		C級コーチ	コーチ1
D級コーチ			D級コーチ	
E-1級コーチ			E級コーチ	
E-2級コーチ				
-	-		キッズインストラクター	

2. E-2級・E-1級からE級への移行について

- 1) E-1級、E-2級は2019年度からE級に移行し、2023年度まで(5年間)E級としての登録が継続可能。
- 2) E-1級からE級に移行したコーチが移行期間の間にD級を受講する場合には、D級講習会の一部を免除。

3. コーチ養成講習会の実施

- 1) E級をeラーニング方式にてJBAで実施
- 2) C級コーチ養成講習会を都道府県協会にて実施
- 3) Jr.エキスパート養成講習会、キッズインストラクター養成講習会をJBAにて実施

4. コーチ登録料

- 1) E級については4年とし、4年を超える場合は再度E級コーチ養成講習会を受講することによって登録可能
- 2) キッズインストラクターについては5年とし、5年を超える場合は再度キッズインストラクター

養成講習会を受講することによって登録可能。

5. 登録有効期間

- 1) E級については4年とし、4年を超える場合は再度E級コーチ養成講習会を受講することによって登録することが可能
- 2) キッズインストラクターについては5年とし、5年を超える場合は再度キッズインストラクター養成講習会を受講することによって登録可能

6. リフレッシュ研修

- 1) ライセンス区分毎に更新に必要なポイント数を設定
- 2) リフレッシュ研修のポイント取得基準を整理

7. 資格の降格と復活基準について

- 1) C級以上のライセンス保持者については、自己申請によるライセンスの降格を認める
- 2) 復活申請回数についてはその上限を定めない
- 3) 復活申請の審査料を10,000円に変更

8. コーチライセンス適用の基本方針

- 1) 指導できるチームイメージを明確にすることを目的とする

<その他>

・Jr.エキスパートは将来的に、育成センター事業やBリーグユースコーチで必須の資格を目指す。キッズインストラクターは将来的に、都道府県キッズプロジェクト事業等での必須の資格を目指す。

2. トップリーグ外国籍コーチのライセンス認定について

「外国籍コーチに関する特例措置」に基づき、下記外国籍コーチについてのコーチライセンスを認定した。

・JBA 公認 S(F) 級コーチ 3 名

申請クラブ/チーム名	役職	コーチ氏名(カナ)	国籍	ライセンス
富山グラウジーズ	HC	ドナルド・ベック	アメリカ	S(F)級
トヨタ自動車アンテロープス	HC	イバン・トリノス・ガルシア	スペイン	S(F)級
シャンソン化粧品 シャンソン V マジック	HC	丁 海鎰 (チョン ヘイル)	韓国	S(F)級

3. スポーツ医科学委員会の名称変更及び所管について

これまで「スポーツ医科学委員会」の役割・所管には、「体力・筋力向上トレーニング方法等の研究に関する事項」及び「ストレングスプログラム策定」の事項が含まれていたが、現状は2016年7月に発足した「技術委員会・スポーツパフォーマンス部会」に移管し、名称もスポーツ医学に特化した「スポーツ医学委員会」とした。

加えて同委員会の役割・所管事項をあらためて整理した。

1. スポーツ医科学委員会の名称変更→「スポーツ医学委員会」とする

2. スポーツ医学委員会の役割・所管事項を次のように整理する

※下線は修正・追記箇所

- ・日本代表選手などの健康管理に関する事項
- ・外傷・障害予防、応急処置に関する事項
- ・アンチ・ドーピングに関する事項
- ・代表選手年間サポート体制の構築
- ・各種国際・国内大会への医務スタッフ派遣調整
- ・各種大会における医事に関する事項
- ・トップリーグ(Bリーグ、Wリーグ)への医学的支援に関する事項

3. 旧スポーツ医科学委員会の下記役割・所管事項は、技術委員会・スポーツパフォーマンス部会に移管する

- ・体力・筋力向上トレーニング方法等の研究に関する事項
- ・ストレングスプログラム策定

〈その他特記事項〉

技術委員会・スポーツパフォーマンス部会の役割・所管事項は下記の通りとする

- ・代表選手の競技パフォーマンス向上のための支援・指導
- ・年代・習熟度にあった競技パフォーマンス向上のためのトレーニング方法論の構築
- ・人々が健やかにバスケットボールに携わることができる環境構築の支援

4. その他、報告事項

(1) 2018FIBA 新ルール変更点サマリー(速報版 20180618)

2018年6月18日にFIBAから送付された「2018FIBA新ルール」について、14項目の変更点、変更理由等を速報版として報告。

〈おもな内容〉

1. P(ピリオド)→Q(クォーター) ※世界的に用語の統一(変更点1)
2. 競技規則に関する事項(変更点 3.4.5.6.7.8.9.10.11.12)
3. ユニフォーム(身に付けるもの)に関する事項(変更点 13)
4. 競技(順位決定方式)に関する事項(変更点 13)
5. 施設用具に関する事項(変更点14)

〈その他〉

- ・FIBA 主催大会での適用開始は 2018 年 10 月 1 日
- ・上記1～5の内容について、JBA 内各担当部署および各委員会で協議し【解釈(取り扱い)】【適用時期】等については別途各担当から理事会へ提案する。
- ・競技規則に関する事項についてはFIBAからのインタープリテーション通知後【解釈】を確認し、また不明な点についてはFIBA への問い合わせを行い提案する。

(2)育成事業現状報告

2017年度より提案している育成改革(育成センター、リーグ戦)について、2018年度の現状および2019年度に向けた取り組みが報告された。

〈内容〉

1. 育成センター機能と発掘の流れについて
→ブロック事業廃止とユースダイレクター設置案、代表活動とユース活動の連携 等
2. 都道府県リーグ戦の発展イメージと上位リーグ戦構築
→都道府県におけるリーグ発展のイメージと目標年度、全国予選と都道府県リーグ戦のつながり、上位リーグ(県、ブロック) 設置目標年度 等

(3) エントリーコーチプロジェクト報告

将来の日本代表コーチになり得る人材の発掘/育成、国際トップレベルのコーチ育成を目標とする事業を開始することが報告された。

〈内容〉

1. 研修実施について(案)

海外研修:2018年7月14日～23日、ドイツ/ケムニッツ

国内研修:2018年7月24日～8月1日、味の素ナショナルトレーニングセンター

2. 講義プログラム概要

FIBA ワールドライセンスレベル3を考慮した内容とする。

3. FIBA ワールドライセンスとの互換性

FIBA と調整中

以上